

2018年度 第1回独立型社会福祉士支援委員会 独立している社会福祉士に聞いてみよう ～ 夢をかたちに ～

現代社会では生活様式の多様化がすすみ、私たち社会福祉士が活動する分野の幅も広がり、専門職として求められる役割も変化してきました。その変化に伴い、「社会福祉士が組織から独立し開業する」という働き方を選択する方も増えてきました。そこで、現在独立・開業している社会福祉士の話聞く機会として本研修を企画いたしました。先輩方の生の声を聞いてみませんか？

【開催日時】2018年11月17日(土) 13:00～17:00(受付 12:30～)

【会場】大野城まどかぴあ 301会議室

福岡県大野城市曙町2丁目3-1 092-586-4000

【定員】50名(先着順)

【参加費】会員 3000円 県外会員 3500円 非会員 4000円

【申し込み方法】所定の申込用紙を使用し、FAXもしくは郵送してください。



※懇親会参加の希望の方へ キャンセルの連絡は前日までをお願いします。

【申し込み締切】2018年11月10日 ※定員となり次第締め切らせていただきます。

【プログラム】13:00～ 開会

13:10～ 基調講演1 「販売王に！！俺はなるっ！！」～ロード・オブ・ザ・キング～
吉田博文氏 (シダックス大新東ヒューマンサービス(株))

14:10～ 基調講演2 「成功も美貌(健康)も私のもの！」～成功につながる心の持ち方～
南條八重氏 八重桜社会福祉士事務所

15:00～ 実践報告 「独立している社会福祉士に聞いてみよう」
鬼木 泰子 氏 (合同会社 鬼木事務所 代表社員) 山口県
九重路 秀乃介氏 (あかつき社会福祉士事務所) 長崎県
高城 健輔 氏 (NPO 法人ヒューマン 理事長) 福岡県

16:00～ シンポジウム 「社会福祉士が独立・開業する意味と役割」

コーディネーター 伊東良輔氏 (一般社団法人ぱるむ 代表理事)

17:00 終了 17:30～ 懇親会 (会場近辺を予定 参加費 4000円程度)

個性豊かな実践者の経験を聞き、シンポジウムでは参加者のみなさんのご質問を受け付けます
懇親会は講師、実践報告者、委員も参加しますので、奮ってご参加ください。

基調講演1 講師



吉田 博文 (よしだ ひろふみ)

資格：社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・産業カウンセラー 他
一般企業での就労を経て福祉業界へ。縫製機器販売メーカー営業マンとして勤め、
平成15年「縫製機器販売コンテスト」で第一位を獲得。

「販売王」となった営業スキルの基本は「対人援助技術」にも通じ、顧客満足度を
「QOLの向上」と捉え、日本一となった秘訣を「福祉」のフィルターを通して解説する。

基調講演 2 講師



南篠 八重 (なんじょう やえ)

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・カラーメンタリスト 他
税理士事務所の庶務として就職。30代は読書好きがこうじて図書司書資格取得して図書館勤務。その後、福祉に目覚め、高齢者通所介護の生活相談員兼介護職で約10年間勤務する。現在、八重桜社会福祉士事務所を自宅で開設。福祉専門職として自己覚知・他者理解を促し、自らの目標を達成するための心構えについて講演する。

実践報告者・シンポジスト



伊東 良輔 (いとう りょうすけ)

工業大学を卒業後、土木施工管理会社に土木施工管理技士として入職、吸収合併のため倒産、休期間を経て介護業界へ転職。2006年：ヘルパー2級を取得し通所介護施設に就職
2008年：視覚障害生活訓練等指導者、2014年：一般社団法人ぱるむ 設立 代表理事就任
高齢・障害・児童分野で権利擁護事業の推進を進めるとともに、社会福祉士の社会的地位の向上を目的とした合同社会福祉士事務所(居宅介護支援事業所併設)を2017年4月に開設。



鬼木 泰子 (おにき やすこ)

平成11年3月まで福岡市博多区民、以降山口県光市在住。出戻ったのを機にヘルパー2級を取得し福祉業界へ。平成14年4月社会福祉士登録。訪問介護事業所2か所、特養併設居宅介護支援事業所2か所の勤務を経て平成22年2月22日合同会社鬼木事務所設立。平成21年4月～成年後見等受任、平成22年4月～平成28年3月県東部の市町にて派遣型SSW従事、平成22年8月居宅介護支援事業所指定取得。現在、山口県社会福祉士会理事、ぱあとなあ山口運営委員



久重路 秀乃介 (くじゅうろ しゅうのすけ)

1976年生まれ。佐世保市出身。長崎県立大学経済学部を卒業後、縁あって福祉の世界へ。14年間の介護・福祉の現場経験を経て、2013年～包括支援センター勤務。2015年3月、あかつき社会福祉士事務所を開業。敬天愛人、知行合一を理念とし、成年後見業務・研修講師等を行っている。基礎的な福祉教育をテーマとしたソーシャルワーク理論やコミュニケーションスキル開発のための学びを深めている。社会福祉士の観点のみならず、武術、色彩理論等にも精通し、多方面にわたるニーズにも対応できる真の「福祉家」を目指した活動を実践している。



高城 健輔(たかじょう けんすけ)

福岡市内で出生。3歳で大阪へ。小学校～高校まで大阪の学校(ずっと、野球してました。)高校出て、タレント事務所で2年。短大を出て、税理士事務所で5年。一般企業の経理・総務で5年。障がい者施設の指導員(支援員)8年・高齢者施設の相談員2年、NPO法人を立ち上げ、独立。7年目。現在、NPOでは主に居宅介護支援事業所を運営し、ぱあとなの後見活動をしているといった状態です。地域では、消防団員の班長。人手不足の民生委員をしています。